

目黒区の障害者福祉の牽引役として、一層の飛躍を期待します

目黒区議会議長 伊藤よしあき



東横線学芸大学駅の商店街に、「しいの実社」という大きな看板を掲げたパン屋さんがあります。ガラス越しにさまざまな種類の美味しそうなパンや焼き菓子がずらりと並んでいて、時折私も利用しています。

「しいの実社」は、社会福祉法人もえぎの会が、地域における障害者就労の実践の場として運営するパンと手作り小物のお店です。最近では、環境保護・途上国支援を目指す目黒区内の会社と共同で新製品を企画するなど、障害者福祉の一步先を行く先進的な事業を展開されています。

もえぎの会のホームページを拝見すると、トップ画面で社員(同会では、利用者をこう呼びます)の皆さんの働く姿を大きく紹介し、同時に「しいの実社」の理念とも言うべき、次の3つの言葉が掲げられています。

- 生まれ育った目黒の地で、障害者が自立した生活を営むことを支援します。
- しいの実社は、仕事を通じて能力を発揮し、生きがいを感じていただきます。
- しいの実社の製品は、心をこめていねいにつくり、お客様に喜んでいただきます。

画面に映る社員の皆さんの表情もいきいきとして、「自助自立」の精神の下で、30年以上にわたり、障害者への支援活動を続けてこられたもえぎの会の真髄が凝縮されているように感じます。

理事長はじめ、スタッフ・後援会・利用者の皆様が、このように常に前向きな姿勢で活動されており、目黒区の障害者福祉の発展に大きく貢献していただき、心より感謝申し上げます。

2006年に施行された障害者自立支援法、さらに今年6月に可決された障害者総合支援法と、障害者福祉を取り巻く環境は変遷しています。

しかし、法律や制度が変わっても、障害を持つ方が自立した生活、充実した人生を送るためには、就労の場、生活の場、支援の手、地域の方々の理解が不可欠です。もえぎの会をはじめとする事業者、障害者団体、地域住民、関係機関等と行政がこれまで以上に連携を強めながら、障害者福祉のあるべき姿を目指し、長期的視野に立ち、協働して支援に取り組むことが大切です。

依然として厳しい経済状況が続き、さまざまな課題があります。もえぎの会には目黒区の障害福祉の牽引役として、また行政の大切なパートナーとして今後ますますのご活躍を期待しております。

しいの実祭のお知らせとお願い

今年は、11月23日(金)開催予定です。恒例の後援会のバザーも企画していますので、献品に、ご協力をお願いいたします。

11月16日(金)までに、ご連絡をお願いします。ただし、下記のものはお預かりできませんのでご了承ください。

- ・ 賞味期限の切れた食品
- ・ 古本、日本人形の類、不揃いの食器、大量の古着

(献品の連絡先： しいの実社 ☎03-5724-7153 岡田)

沢山の方に参加して頂き、感謝の気持ちを表すような企画を進めています。来た方が笑顔になれる…心温まるお祭を目指します。

施設のスペースが限られて狭いので、お隣の白川電機製作所さん、平研磨工業所さん、五十嵐電機製作所さんの場所をお借りして、ますます盛り上げるように、みんなで張り切って準備しています。



昨年の様子



もえぎの会事業報告会、後援会総会 開催

7月21日(土)に目黒区合同庁舎大会議室において、もえぎの会事業報告会および後援会総会を開催しました。例年より早く猛暑が始まり、当日も暑さが予想されましたが、多少の雨もあり、いづれか過ごしやすい日となりました。

昨年度は、「活動30周年、法人10周年記念式典」で、特別の企画でしたが、今年は、例年どおりで約130名の方に出席していただきました。最初は後援会の総会で、役員改選の年に当たり、沼野嗣男会長をはじめ、役員の方は再任となり、改めて活発に活動していただきます。併せて、事業報告、事業計画を承認していただき、改めて、もえぎの会への支援、地域での啓発活動をしていただくことになりました。



引き続き、法人事業報告会を行い、野村理事長の挨拶、来賓を代表して青木英二区長と鈴木隆道都議会議員に祝辞をいただきました。その後、パワーポイントを使用して、もえぎの会の活動報告を行い、10年経過しての利用者数、収入などの推移や写真を交えて活動の様子を伝えました。最後に、昨年度で10周年の節目を迎え、今年度は、法人として「新たな飛躍」をテーマにして次のステップに踏み出すことを報告しました。引き続き、伊藤よしあき目黒区議会議員長の区議会議員紹介、乾杯のご発声により、懇親会が始まりました。料理は、しいの実社がランチでお世話になっていて、後援会会員の葉隠勇進に提供していただきました。普段お話しできない、来賓の方や後援会会員、また、しいの実社の家族や利用者、スタッフなど、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で懇談、交流していただきました。後半には、コスモスカイオーケストラに演奏をしていただき、利用者の方も実際に楽器をいじったり、歌ったりして楽しい時間となりました。締めは、しいの実社に通っている社員と今年入社したスタッフの挨拶と締めめでお開きとなりました。

新たな飛躍に向け、法人、家族、スタッフはじめ、行政や地域の方々など、関係するすべての方が満足できるように連携し、協力していくことを改めて認識する会となりました。



演奏を楽しむ



料理を楽しむ



社員による締め

秋冬のイベント販売スケジュール

10月20日(土)	地域福祉のつどい	中目黒GT
10月27日(土)	えのき祭	大橋えのき園
10月28日(日)	中目黒公園祭	中目黒公園
11月17日(土)	本町まつり	目黒本町工房
11月24日(土)	ふれあいつりオ 吉田恭子と仲間たち	パーシモンホール
12月 9日(日)	障害者の日	パーシモンホール

しいの実社 宿泊研修旅行

9月6日(木)、7日(金)に宿泊旅行に行ってきました。行先は、10年前にも1度訪れたことのある石和温泉でした。しいの実社は、日中活動の場所が3か所、生活の場所が2か所と分かれており、全員が顔を合わせることが少ないため、スタッフ、利用者全員で行き、総勢72名となりました。

前日の予報では、雨マークが付き、心配でしたが、1日目の観光が終わり、宿に向かうバスの中だけ降られて済み、それ以外は、暑い位で、皆さんの普段の行いの良さを改めて感じました。

1日目は、全員で河口湖で食事をしてから、忍野八海、富士山レーダー館などを散策、見学し、宿へ。2日目は、見学コース(ワイン工場、桔梗屋さん)、笛吹川フルーツパーク散策コース、ハイジの村体験コースの3グループに分かれました。今回の旅の心残りは、2日間とも雲がかかり、富士山がきれいに見えなかったことです。

いろいろありましたが、今回も2人のボランティアさんに参加していただき旅行を支えて頂き、後援会からは、例年通り、宿泊研修旅行の補助をして頂き、利用者の人たちにとって貴重な体験と楽しい思い出となりました。ありがとうございました。



フルーツパーク



ワイン工場



ハイジの村



全員集合!!

地域との交流

現在のしいの実社には、ワンボックス車が1台、軽自動車が2台あります。車には、しいの実社の名前とフレンズマーク(しいの実社のロゴ)が描かれ、毎日、走っています。直営ショップをはじめ、区内の保育園、目黒本町福祉工房併設の「さんまるしえ」さんへ、しいの実社製品を配達しています。

しいの実社の製品を販売して頂けるお店も増えています。学芸大学の「ロージー」さんや「西郷歯科」さんをはじめ、最近では、フェアトレードの会社との連携も増えています。三田にある「第3世界ショップ」さんにはクラフトや織物の製品を置いていただき、自由が丘の「ピープルツリー」さんとは、コラボしたクッキーを販売していただいています。

配達や販売を通して、交流の機会を増やし、買っていただくことで、売上を上げることができます。地域の理解が進み、地域に潤いをもたらすこととなりますので、お互いに助け合い、地域で生活するために、積極的に地域に出ていきたいと考えています。



ピープルツリーとのコラボクッキー

